

A数と計算「A(2)加法と減法 ア(ア)」

2位数の加法や減法の筆算の仕方で身に付けた知識及び技能を活用・発揮し、筆算の習熟を図る問題のアイディア

ねらい

2位数－2位数,または2位数－1位数の減法の筆算で,正確に差を求めることができる。

学習課題 (めあて)

こたえは,どうなるかな。みんなで計算してみよう。

問題のアイデア

【もんだい】 『どんな答えになるのかな？』

1 2 3 4 5 6 7 8 9 のカードが

あります。このカードをつかって、つぎのじゅんばんで、けいさんしましょう。

- ① 2まいのカードをえらんで、ならべて2けたのかずをつくります。
- ② えらんだカードを入れかえて、2けたのかずをつくります。
- ③ ①と②の大きい方から小さい方をひきます。
- ④ ③のこたえの十のくらいと一のくらいを入れかえます。
- ⑤ ③のこたえと④のかずをたします。ただし、ひきざんのこたえが「9」になったときは「09」とかんがえて、入れかえたかずを「90」にしてください。

問題の魅力

- 2枚のカードをどのように選んでも、①～⑤の順に計算すると結果は必ず「99」になる不思議さがある。「本当かな」と思わずいくつか計算してみたくなる問題である。
- 2枚のカードの差が同じとき、ひき算の答えが同じになる。この性質を児童が発見するには、教師の手立てが必要であるが、このことを発見できたときの児童の喜びは大きいと思われる。

問題を解いてくださった先生の感想

◎どの数字を選んでも答えが99になる不思議さが面白い。「どの数字を選んだか」聞き合う児童の姿が想像できる。

▲2年生では、文字が多すぎて途中で諦めてしまう子どもがいると思われる。

▲③の答えが1けたのとき、④で入れかえる注意書きがあればよい。